

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年11月11日
【四半期会計期間】	第22期第2四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）
【会社名】	株式会社パピレス
【英訳名】	PAPYLESS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松井 康子
【本店の所在の場所】	東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
【電話番号】	03-3590-9460（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務・経理部長 須永 喜和
【最寄りの連絡場所】	東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
【電話番号】	03-3590-9460（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務・経理部長 須永 喜和
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第2四半期 累計期間	第22期 第2四半期連結 累計期間	第21期
会計期間	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売上高 (千円)	4,218,776	5,148,492	8,424,509
経常利益 (千円)	440,339	519,344	560,955
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	283,110	333,123	355,427
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	-	326,725	-
純資産額 (千円)	2,883,961	3,235,191	2,903,074
総資産額 (千円)	4,774,985	5,667,191	4,805,674
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	112.09	135.21	141.46
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	111.96	135.03	141.29
自己資本比率 (%)	60.3	55.3	60.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	467,392	639,151	540,799
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	425,421	22,839	421,461
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	112,453	13,884	127,579
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,960,071	2,749,530	2,035,297

回次	第21期 第2四半期 会計期間	第22期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日	自平成27年7月1日 至平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	49.00	57.52

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載していません。
- 2 当社は、第22期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成していますので、第21期第2四半期連結累計期間、第21期第2四半期連結会計期間及び第21期連結会計年度に代えて、第21期第2四半期累計期間、第21期第2四半期会計期間及び第21期事業年度について記載しています。
- 3 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、巴比楽視網路科技股份有限公司を連結の範囲に含めています。

また、当第2四半期連結会計期間より、次世代コンテンツに関する開発・制作を目的とした、株式会社ネオアルドを設立し、連結子会社が1社増加しました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っていません。

また、当社グループの事業は電子書籍事業のみであり、重要な事業拠点も当社のみとなっているため報告セグメントはありません。

#### (1) 財政状態の分析

##### (資産の部の分析)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、5,667,191千円となりました。

流動資産は、5,516,601千円となりました。

主な内訳は、現金及び預金が3,936,532千円、売掛金が1,229,380千円です。

固定資産は、150,590千円となりました。

主な内訳は、投資その他の資産が143,359千円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、重要な設備の新設および除却はありません。

##### (負債の部の分析)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、2,432,000千円となりました。

主な内訳は、買掛金が1,154,362千円、未払金が619,739千円です。

##### (純資産の部の分析)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,235,191千円となりました。

主な内訳は、資本金が414,462千円、資本剰余金が192,549千円、利益剰余金が2,749,148千円です。

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、55.3%となりました。

#### (2) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、景気の一部に鈍い動きもみられますが、緩やかな回復基調が続きました。個人消費は、底堅い動きとなっています。企業収益は、改善しているものの、各種調査による企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっています。

通信端末の市場環境は、従来型携帯電話の出荷台数が減少する一方で、スマートフォンの普及が進んでいます。IDC Japan株式会社によれば、平成27年4月から6月のスマートフォンの出荷台数は、608万台（前年同期比23.6%増）と、携帯電話の84.1%を占めています。

電子書籍の市場環境は、スマートフォン及びタブレットユーザーの増加をベースに、TVCM広告等による電子書籍ユーザーの拡大、各社キャンペーン拡大による平均購入量の増加が続いています。インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2015」によれば、平成26年度の電子書籍市場規模は、1,266億円（前年度比35.3%増）と推計されています。また、同社は、平成31年度の電子書籍市場規模は、平成26年度の2.3倍の2,890億円程度になると予測しています。

当社グループを取り巻く事業環境は、大手企業の参入をきっかけとして、競争が激化しています。この結果、掲載コンテンツの需要が増加し、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入コスト上昇のリスクが高まっています。また、集客を強化するための広告宣伝や販促コストも増加傾向となっています。

このような環境の中で、当社グループは顧客第一主義のもと、サービスの向上と差別化によって、売上高を伸ばすとともに、収益体質の改善に努めています。また、当期においても引き続き、TVCM広告を実施し、ユーザー層の拡大を進めています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は5,148,492千円、営業利益は529,997千円、経常利益は519,344円、親会社株主に帰属する四半期純利益は333,123千円となりました。

以下、業績の詳細を示すと次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間において、主な売上増加要因として、電子書籍のレンタルサイト「Renta!」の売上が拡大しました。

集客面では、顧客層拡大のための、TVCM広告施策、継続的な効果分析に基づく、インターネット広告施策を実施しました。

サービス面では、ユーザーの利便性向上を目的とし、各種改良を実施しました。ビューアに対して、スマートフォンユーザーの使い慣れた縦スクロールでのコミック閲覧機能の導入、サイトに対して、レビュー活性化、検索機能向上等の改良を実施しました。

また、書籍を分冊形式で配信する新しいコンセプトの電子書籍サイト「パピレスプラス」の、購入方法の見直しや、サイト改良を実施しました。

さらに、海外向けサービスとして、英語版「Renta!」、中国繁体字版「Renta!」（巴比樂視網路科技股份有限公司運営）を運営しています。現地のユーザーに合わせたサイト改良と翻訳コンテンツの拡充を行いました。

コンテンツ面では、TVアニメ化したコミック「がっこうぐらし!」の新刊を紙書籍と同時配信する等、コミックを中心に品揃えを増やしています。その他、小説・ノンフィクション、ビジネス書等、幅広いジャンルの書籍の拡充を行いました。

また、次世代コンテンツの開発を進めました。小説の文章を短く区切り、画像を追加した「絵ノベル」（特許取得済）では、セリフやBGMの音声を付加する改良を行いました。コミックを動的演出で見せる「コミックシアター」では、フルボイス版コンテンツの開発を行いました。

次世代コンテンツ開発を進めるため、株式会社GYAOと合弁契約を締結し、「株式会社ネオアルド」を設立しています。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,749,530千円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動においては、主な資金増加要因として、税金等調整前四半期純利益の獲得額519,344千円、仕入債務の増加額241,334千円、未払金の増加額101,590千円がありました。主な資金減少要因として、売上債権の増加額188,361千円、法人税等の支払額75,203千円がありました。

この結果、獲得した資金は639,151千円となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動においては、主な資金増減要因として、定期預金の預入による支出及び定期預金の払戻による収入1,000,000千円、有価証券の取得による支出100,000千円、有価証券の売却及び償還による収入123,757千円がありました。

この結果、獲得した資金は22,839千円となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動においては、主な資金増減要因として、非支配株主からの払込による収入85,239千円、自己株式の取得による支出59,009千円がありました。

この結果、獲得した資金は13,884千円となりました。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、15,686千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	9,000,000
計	9,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,581,720	2,581,720	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,581,720	2,581,720	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日	-	2,581,720	-	414,462	-	189,389

(6)【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
天谷 幹夫	東京都練馬区	856,926	33.19
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2-10	333,400	12.91
日本出版販売株式会社	東京都千代田区神田駿河台4丁目3	160,000	6.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	101,400	3.92
GOLDMAN, SACHS & CO.REG (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	200 WEST STREET NEW YORK, NY, USA (東京都港区六本木6丁目10-1六本木ヒルズ森タワー)	100,000	3.87
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6-1	92,100	3.56
松井 康子	千葉県市川市	40,296	1.56
カブドットコム証券株式会社	東京都千代田区大手町1丁目3-2	39,600	1.53
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4	26,900	1.04
RBC ISB A/C LUX NON RESIDENT /DOMESTIC RATE (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	14 PORTE DE FRANCE, ESCH-SUR-ALZETTE, LUXEMBOURG, L-4360 (東京都新宿区新宿6丁目27-30)	22,000	0.85
計	-	1,772,622	68.66

- (注) 1 上記のほか、自己株式が129,188株あります。  
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の所有株式は、信託業務に係る株式です。  
3 平成27年8月24日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、片山晃氏が平成27年8月17日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。  
なお、その大量保有報告書の内容は次のとおりであります。

大量保有者	片山晃
住所	東京都千代田区
保有株券等の数	株式 254,400株
株券等保有割合	9.86%

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 129,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,451,500	24,515	-
単元未満株式	普通株式 1,120	-	-
発行済株式総数	2,581,720	-	-
総株主の議決権	-	24,515	-

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社パピレス	東京都豊島区 東池袋3-23-14	129,100	-	129,100	5.00
計	-	129,100	-	129,100	5.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

なお、当社は第22期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、比較情報は記載していません。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けています。



1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成27年9月30日)

<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	3,936,532
売掛金	1,229,380
有価証券	157,628
コンテンツ資産	1,053
その他	194,801
貸倒引当金	2,794
流動資産合計	5,516,601
固定資産	
有形固定資産	6,196
無形固定資産	
その他	1,034
無形固定資産合計	1,034
投資その他の資産	143,359
固定資産合計	150,590
資産合計	5,667,191
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	1,154,362
未払金	619,739
未払法人税等	217,341
賞与引当金	36,813
その他	403,743
流動負債合計	2,432,000
負債合計	2,432,000
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	414,462
資本剰余金	192,549
利益剰余金	2,749,148
自己株式	221,378
株主資本合計	3,134,781
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	1,201
その他の包括利益累計額合計	1,201
新株予約権	20,757
非支配株主持分	80,854
純資産合計	3,235,191
負債純資産合計	5,667,191

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位 : 千円 )

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)
売上高	5,148,492
売上原価	2,177,739
売上総利益	2,970,753
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	1,645,539
代金回収手数料	382,344
貸倒引当金繰入額	1,125
賞与引当金繰入額	18,237
その他	393,508
販売費及び一般管理費合計	2,440,755
営業利益	529,997
営業外収益	
受取利息	1,567
退会者未使用課金収益	5,143
その他	4
営業外収益合計	6,715
営業外費用	
自己株式取得費用	118
為替差損	17,237
その他	13
営業外費用合計	17,369
経常利益	519,344
税金等調整前四半期純利益	519,344
法人税、住民税及び事業税	210,591
法人税等調整額	21,108
法人税等合計	189,483
四半期純利益	329,860
非支配株主に帰属する四半期純損失 ( )	3,262
親会社株主に帰属する四半期純利益	333,123

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	329,860
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	3,135
その他の包括利益合計	3,135
四半期包括利益	326,725
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	330,787
非支配株主に係る四半期包括利益	4,062

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	519,344
減価償却費	1,200
株式報酬費用	7,296
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,539
賞与引当金の増減額(は減少)	1,803
受取利息及び受取配当金	1,567
為替差損益(は益)	16,131
売上債権の増減額(は増加)	188,361
たな卸資産の増減額(は増加)	587
仕入債務の増減額(は減少)	241,334
未払金の増減額(は減少)	101,590
その他	19,717
小計	712,753
利息及び配当金の受取額	1,601
法人税等の支払額	75,203
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>639,151</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	1,000,000
定期預金の払戻による収入	1,000,000
有価証券の取得による支出	100,000
有価証券の売却及び償還による収入	123,757
有形固定資産の取得による支出	879
その他	38
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>22,839</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式の取得による支出	59,009
非支配株主からの払込みによる収入	85,239
配当金の支払額	12,345
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>13,884</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,296
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	667,578
現金及び現金同等物の期首残高	2,035,297
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	46,654
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>2,749,530</b>

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当社は、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、巴比樂視網路科技股份有限公司を連結の範囲に含めています。

また、当第2四半期連結会計期間より、株式会社ネオアルドを新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

退会者未使用課金収益

ユーザーが電子書籍コンテンツをダウンロード又は閲覧するために、前もって購入したポイントのうち、当第2四半期連結累計期間において失効した金額を「退会者未使用課金収益」として計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
現金及び預金勘定	3,936,532千円
有価証券勘定	157,628
小計	4,094,161
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	1,244,631
株式及び償還期間が3ヶ月を超える債券等	100,000
現金及び現金同等物	2,749,530

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月25日 定時株主総会	普通株式	12,412	5	平成27年3月31日	平成27年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当社グループは、電子書籍事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	135円21銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	333,123
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	333,123
普通株式の期中平均株式数(株)	2,463,806
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	135円03銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-
普通株式増加数(株)	3,172
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月6日

株式会社パピレス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 向 眞生

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高橋 篤史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社パピレスの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社パピレス及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。